うるま市の蝶 シリーズ®

そうに蝶と戯れる子どもたち

蝶で自然に心が動く

子供たちの目にオオゴマダラの飛び交 う姿が入ると、なんと純真な心を持って いるんだろうと、そのたびに心が和みます。 大人でも、オオゴマダラが飛んでいる 姿を見ると、つい目が行ってしまいます。 不思議です。

オオゴマダラの飛ぶ姿は、他の蝶に比 べると、羽をバタバタせずにゆっくり動か します。その姿は実に優雅です。それはオ オゴマダラが日本一大きな蝶だからです。 飼育も他の蝶に比較すると容易に出来 ます。蝶に関心を持たせば、子供達の心 の自然教育にもつながっていくと思います。

食草のホウライカガミを普及させ、子 供たちが無邪気にオオゴマダラと戯れて いる姿をいつも夢見ています。

> (文·写真) うるま市ちょうちょう愛好会 建二郎 照屋



部间前



ます。 也監督のもと日々の練習に励んでい 動している私たちチームは、伊礼元田場小学校グラウンドを拠点に活 Let's Try! Never Give up,

あるキャプテンの伊礼大輔を中心に 互いに競争しあいながらレベルアッ を図っています。 個性派揃いのチームで、長打力の りのあるチームづくりを目指してい 合言葉に最後まであきらめない、

粘

め、日々の活動を支えてくれている そしてチームの力になっていること くことが目標です。 を信じ、目の前の1戦1戦を勝ち抜 重ねてきたものが確実に自分の力に 監督や父母は、「夢・実現」のた 練習は厳しいこともあるが、積み

張ってほしいと、今後の子ども達の 方々に感謝する気持ちを忘れずに頑

間の力を信じて自分に出来ることを精

杯頑張ってほしいと監督や父母は子

る場面も多々あるので、自分の力、仲 子ども達。試合中に弱気になり、崩れ

ども達にエールを送っています。

活躍に期待しています。





これまで、第3回中頭地区小学生バ

展開するチームワーク抜群のチームで

エース仲本愛香の攻撃を中心に試合を

生バレーボール福岡大会出場など輝か しい成績を収めています。 レーボール春季大会優勝、 全九州小学

れる「琉銀カップ」で優勝すること。 る「中頭地区秋季大会」12月に開催さ これまでの経験で自信をつけてきた これからの目標は、11月に開催され

サルディー、嘉陽宗淳コーチのもと、 っています。 ーに、25名の部員で週3回活動し頑張 「失敗を恐れずに笑顔で!」をモット キャプテン比嘉梨乃の守備とライト 赤道クラブは、上門信人監督、仲本